

2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <https://www.jsr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) エリック ジョンソン
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 武田 佳子 TEL 03-6218-3517
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	197,251	17.3	16,908	△26.7	17,696	△22.7	14,542	△22.0	14,770	△15.8	39,256	75.4
2022年3月期第2四半期	168,214	20.8	23,077	38.5	22,888	60.9	18,633	-	17,542	-	22,376	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	70.32	70.23
2022年3月期第2四半期	81.60	81.49

（参考）税引前四半期利益 2023年3月期第2四半期 22,697百万円（△4.8%） 2022年3月期第2四半期 23,835百万円（83.0%）

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	709,874	402,736	377,774	53.2	1,819.97
2022年3月期	809,371	414,739	376,011	46.5	1,748.25

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	35.00	-	35.00	70.00
2023年3月期	-	35.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,500	23.3	55,000	27.0	56,000	28.0	45,500	15.4	43,500	16.6	209.57

（参考）税引前当期利益 通期 56,000百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）JSR BST Elastomer Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	208,400,000株	2022年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	828,398株	2022年3月期	11,047,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	210,047,814株	2022年3月期2Q	214,962,541株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2022年10月31日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から同年9月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界の動向は、半導体市場はスマートフォン等一部最終商品の需要が軟化しているものの、データセンターや自動車向けをはじめとした需要は強く、引き続き堅調でした。

一方で、フラットパネルディスプレイ市場は新型コロナウイルス下の巣ごもり需要等からの反動により昨年後半からのパネル市況の低迷が継続しており、パネルの生産調整が拡大しました。バイオ医薬品市場は引き続き高い成長となりました。

デジタルソリューション事業では、半導体材料事業において最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料事業では引き続き成長が期待される中国市場において競争力のある製品を中心に拡販を進めました。

ライフサイエンス事業では、米国の統括会社が当該事業全体の戦略を主導し、バイオ医薬品の開発・製造受託（CDMO事業）、医薬品の開発受託（CRO事業）を中心に拡大に努め売上収益が増加しました。

合成樹脂事業では、引き続き戦略製品の拡販を進めました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益は1,972億51百万円（前年同期比17.3%増）、コア営業利益169億8百万円（同26.7%減）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
デジタルソリューション事業	80,609	47.9%	90,599	46.0%	9,991	12.4%
ライフサイエンス事業	33,692	20.0%	51,452	26.1%	17,760	52.7%
合成樹脂事業	47,782	28.5%	45,644	23.1%	△2,137	△4.5%
その他事業	6,132	3.6%	9,556	4.8%	3,423	55.8%
調整額	0	0.0%	—	—%	△0	△100.0%
合計	168,214	100.0%	197,251	100.0%	29,037	17.3%
国内売上収益	55,459	33.0%	63,599	32.2%	8,141	14.7%
海外売上収益	112,756	67.0%	133,652	67.8%	20,897	18.5%
区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上 収益比	金額	売上 収益比	金額	比率
コア営業利益	23,077	13.7%	16,908	8.6%	△6,169	△26.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	17,542	10.4%	14,770	7.5%	△2,772	△15.8%

① デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、堅調な半導体市場を背景とした販売拡大及び為替の円安により売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、フラットパネルディスプレイ市場の停滞、先行投資の増加、一時費用等により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比12.4%増の905億99百万円、コア営業利益は前年同期比5.6%減の184億96百万円となりました。

② ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、主にCDMO事業、CRO事業の販売拡大、診断薬事業の好調及び為替の円安により売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、新工場の立ち上げに伴う費用の増加等により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比52.7%増の514億52百万円、コア営業利益は前年同期比63.6%減の7億7百万円となりました。

③ 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、戦略製品の拡販を進めましたが、主な対面市場である自動車や産業資材市場の低調の影響もあり、販売数量の減少により売上収益は前年同期を下回りました。

コア営業利益は、販売数量の減少及び原料価格の上昇に伴う売買スプレッドの悪化により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比4.5%減の456億44百万円、コア営業利益は前年同期の利益34億55百万円から損失1億15百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年8月1日の「2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,567	74,621
営業債権及びその他の債権	76,106	89,842
棚卸資産	104,934	117,030
その他の金融資産	1,289	2,088
その他の流動資産	17,807	21,838
小計	245,704	305,420
売却目的保有に分類される処分グループに係る 資産	191,298	—
流動資産合計	437,002	305,420
非流動資産		
有形固定資産	159,539	171,367
のれん	117,640	137,417
その他の無形資産	24,571	26,753
持分法で会計処理されている投資	2,984	3,301
退職給付に係る資産	5,192	4,464
その他の金融資産	31,408	33,177
その他の非流動資産	2,830	3,435
繰延税金資産	28,205	24,540
非流動資産合計	372,369	404,454
資産合計	809,371	709,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	63,548	69,785
契約負債	12,824	24,800
社債及び借入金	69,170	67,343
未払法人所得税	13,479	2,261
引当金	2,718	913
その他の金融負債	3,489	3,990
その他の流動負債	7,461	7,361
小計	172,689	176,453
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	115,576	—
流動負債合計	288,265	176,453
非流動負債		
契約負債	11,582	4,545
社債及び借入金	48,737	73,221
退職給付に係る負債	10,278	10,548
引当金	8,033	8,064
その他の金融負債	17,795	24,048
その他の非流動負債	4,809	4,416
繰延税金負債	5,133	5,842
非流動負債合計	106,366	130,684
負債合計	394,631	307,137
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	11,799	11,580
利益剰余金	333,335	294,419
自己株式	△18,874	△2,162
その他の資本の構成要素	26,381	50,565
親会社の所有者に帰属する持分合計	376,011	377,774
非支配持分	38,728	24,963
資本合計	414,739	402,736
負債及び資本合計	809,371	709,874

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
継続事業		
売上収益	168,214	197,251
売上原価	△105,131	△128,086
売上総利益	63,083	69,166
販売費及び一般管理費	△40,281	△52,638
その他の営業収益	2,005	2,335
その他の営業費用	△1,928	△1,212
持分法による投資損益	10	45
営業利益	22,888	17,696
金融収益	1,642	6,129
金融費用	△696	△1,128
税引前四半期利益	23,835	22,697
法人所得税	△6,548	△8,154
継続事業からの四半期利益	17,287	14,542
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	1,346	—
四半期利益	18,633	14,542
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,542	14,770
非支配持分	1,091	△228
合計	18,633	14,542
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	81.60	70.32
継続事業	73.80	70.32
非継続事業	7.81	—
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	81.49	70.23
継続事業	73.69	70.23
非継続事業	7.80	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	18,633	14,542
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	1,973	527
確定給付負債(資産)の再測定額	140	14
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△2	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	503	5
在外営業活動体の換算差額	657	23,856
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	472	311
税引後その他の包括利益合計	3,743	24,714
四半期包括利益合計	22,376	39,256
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	21,977	38,991
非支配持分	399	265
合計	22,376	39,256

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	23,370	11,562	302,916	△19,202	15,348	333,995	36,741	370,736
四半期利益			17,542			17,542	1,091	18,633
その他の包括利益					4,435	4,435	△692	3,743
四半期包括利益合計	-	-	17,542	-	4,435	21,977	399	22,376
株式報酬取引		281		248	△347	181		181
配当金			△6,447			△6,447	△653	△7,100
自己株式の変動		△14		46		32		32
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			7,158		△7,158	-		-
子会社株式の売却による変動		34				34	133	167
その他の増減額		△6				△6		△6
所有者との取引額等合計	-	295	711	294	△7,505	△6,206	△520	△6,725
2021年9月30日残高	23,370	11,857	321,169	△18,908	12,278	349,766	36,620	386,387

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年4月1日残高	23,370	11,799	333,335	△18,874	26,381	376,011	38,728	414,739
四半期利益			14,770			14,770	△228	14,542
その他の包括利益					24,221	24,221	493	24,714
四半期包括利益合計	-	-	14,770	-	24,221	38,991	265	39,256
株式報酬取引		330		371	△309	391		391
配当金			△7,528			△7,528	△513	△8,041
自己株式の変動		△549	△45,884	16,342		△30,092		△30,092
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△274		274	-		-
子会社株式の売却による変動						-	△13,518	△13,518
所有者との取引額等合計	-	△219	△53,686	16,713	△36	△37,228	△14,031	△51,259
2022年9月30日残高	23,370	11,580	294,419	△2,162	50,565	377,774	24,963	402,736

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業が中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、バイオプロセス材料や診断薬、創薬支援サービスを提供しております「ライフサイエンス事業」及び自動車やOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトリソグレイド、多層材料）、実装材料、洗浄剤、CMP材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬および同材料、バイオプロセス材料、創薬支援サービス、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタルソ リユーショ ン	ライフサイ エンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収 益	80,609	33,692	47,782	6,132	168,214	0	168,214
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	19,589	1,945	3,455	493	25,482	△2,405	23,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、接着剤等の製造・販売の事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,405百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタルソ リユーショ ン	ライフサイ エンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収 益	90,599	51,452	45,644	9,556	197,251	—	197,251
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	18,496	707	△115	65	19,153	△2,245	16,908

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、接着剤等の製造・販売の事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,245百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
セグメント損益	23,077	16,908
減損損失戻入	1,175	-
事業構造改革費用	-	△15
固定資産売却損	-	△222
子会社出資金評価損	△1,411	-
子会社株式売却益	-	1,020
その他	48	5
営業利益	22,888	17,696
金融収益	1,642	6,129
金融費用	△696	△1,128
税引前四半期利益	23,835	22,697